

「あいち医師・歯科医師九条の会」憲法のつどい 森英樹氏講演「どうなる憲法、どうする憲法」 ぜひ、ご参加ください

「あいち医師・歯科医師九条の会」憲法のつどい

講演 **「どうなる憲法、
どうする憲法」**

講師 **森 英樹氏**

(名古屋大学副総長、愛知憲法会議事務局長)

2月18日土 午後3時30分～6時
愛知県保険医協会伏見会議室



森 英樹（もりひでき）氏

1942年三重県生まれ。京都大学
法学部卒。名古屋大学大学院法
学研究科修士課程修了。1970年
から愛知憲法会議事務局長。
日本学術会議会員。

参加協力費 医師・歯科医師 1000円
一般市民 500円

「あいち医師・歯科医師九条の会」の運営は、「会費は徴収せず、
寄付金・参加費等でまかなう」としています。ご協力ください。

主催：あいち医師・歯科医師九条の会

連絡先：名古屋市昭和区妙見町19-2

愛知県保険医協会気付 電話 052-832-1345



会場案内



憲法改定を巡る情勢は、昨年十月二十八日に自民
党が「新憲法草案」を決定、「戦力不保持」の「九条
の会」で医師・歯科医師が関わりを持って活動して
いることから、その交流も行うこととしました。さ
らに十八日までに賛同者を千人に広げることと決め
ました。

出欠のご返事は、同封の郵便ハ
ガキでお知らせください。

その後、世話人会で、名古屋大学副総長・愛知憲
法会議事務局長の森英樹氏を講師に、「どうなる憲
法、どうする憲法」のテーマで講演会を開催するこ
とを決めました。また愛知県内では二百を超える地
域・職域の「九条の会」が結成され、多くの「九条
の会」で医師・歯科医師が関わりを持って活動して
いることから、その交流も行うこととしました。さ
らに十八日までに賛同者を千人に広げることと決め
ました。

いよいよ憲法九条を守る具体的な行動が必要と
なってきました。こうした時に開催する私たちの
「つどい」に、名古屋大学で憲法を教える三十三
年、四月からは龍谷大学法科大学院に赴任される、森英
樹氏を講師にお招きすることができました。名古屋
大学教授として私たちがお話を聞きするのは、最
後になると思います。ぜひお出かけ下さい。

「あいち医師・歯科医師九条の会」は、十月二十
七日に七百五十五人の賛同で発足しました。発足の
記者会見で山内一征世話人代表は「さらに賛同を広
げ、二月十八日に「つどい」を開催する」と、今後
の取り組みを述べました。

第二項を削除し、代わって「自衛軍の保持」を明
記しました。十二月二十日に自公民三党の衆院憲法
調査特別委員会理事は、憲法改定国民投票の手続き
を定める「国民投票法案」を、いまの通常国会で成
立をめざすことで合意しています。

これまで837人が賛同、
さらに賛同広げ「つどい」の成功を！

第2号 2006年2月7日発行

あいち医師・歯科医師九条の会ニュース

名古屋市昭和区妙見町19の2、
愛知県保険医協会館内
あいち医師・歯科医師九条の会
〒466-8655
電話 052-832-1345
FAX 052-834-3512

海外で戦争をする国に させないために

あいち九条の会代表世話人
あいち医師・歯科医師九条の会代表世話人

山内 一征

私の名前は、かずゆきと読みます。長男で父親がフィリピンに出征している一九四五年一月に生まれたために命名されたということです。日本国憲法が公布されて六十年が経ちます。憲法は、私の人生とほぼ同じ年月を、風雪に耐え一度も改定されることなく凛として日



一度も海外で戦争をすることなく今日に至っています。近年、米国、財界、多くの政党から改憲の大合唱が起こって



「憲法9条を守る
う県民の集い」に
は、超満員の三千
二百人が参加（二
〇〇四年十一月）

「自衛隊」が「国際社会の平和と安全を確保するため国際的に協調して行われる活動」に参加するとしています。これは、自衛隊が軍隊として何の制約もなく海外で戦争することができることを意味しています。

愛知県保険医協会では、二〇〇四年六月の「九条の会」のアピールに応じて、同年十一月から「守ろう憲法九条」の賛同署名に取り組みました。昨年の十月、七百五十五名の賛同を得て「あいち医師・歯科医師九条の会」を発足させました。発足

守ろう憲法

日本国憲法

戦争の放棄

私の思い

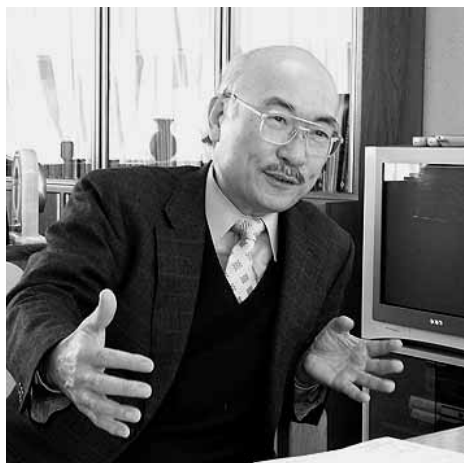
『愛知保険医
新聞』から転載

戦争放棄

医師は命奪う戦争に 人を送らない

インタビュー

名古屋大学副総長
同大学前医学部長
杉浦康夫氏にきく



医療人として九条への思いを語る杉浦氏

——加藤周一氏や大江健三郎氏が呼びかけた「九条の会」アピールへの賛同をよびかけていますが、その思いは、昭和二十二年生まれ



聞き手は中川武夫
保険医協会副理事長

一九九一年の湾岸戦争時に日本は一兆円を超える予算を拠出したが、一瞬のうちにそれだけのお金が戦火の中に消えていくのはやるせない思いです。この戦争以来、日本は行かなくてもよい戦争に協力しています

が、戦力不保持や交戦権を否定する九条を守らなければと思う一番の理由はここにあります。また、戦後六十年の

今、あの戦争は何だったのか、語り始める人がたくさんいます。彼らは日本の現状を見て、自らの封印を解こうとしていると思います。そういう危機感をもった人たちのように、一度立ち止まって九条を見つめ直し、守る行動を起こさなければと

思っています。——医療人としての思いは。ベトナム戦争では、ナ

から、九条の大切さを語っていただきたいです

ね。——名古屋大学はアジア各国との連携に積極的です

大学として学問・医療を通じて国際貢献を進めています。「ヤング・リーダーズ・プログラム」でベトナム・ラオス・ウズベキスタンなどの保健医療制度作りのリーダー養成に協力しています。法学や経済学などで協力する大学は他にもありますが、医療では名古屋大学が唯一となっています

私たちは、医療をはじめ、知識・人材面での国際協力に惜しみません。しかし、軍事面での協力はしたくありません。アジア各国と学術交流をもとに信頼関係を築きつつあるところに、軍隊を送ってくれるな、と強く